東京都中学校体育連盟

バドミントン部専門委員総会

2019年4月18日(木) 於 新宿区立 新宿 中学校 けやきホール

- 1, 開会の挨拶
- 2, 平成30年度 事業報告
 - 総務委員会
 - 競技委員会
 - 審判委員会
 - 強化普及委員会

会計報告 会計委員会

- 3,役員委員の改選・承認
- 4,2019年度 事業計画
 - 総務委員会
 - 競技委員会
 - 審判委員会
 - 強化普及委員会

予算案 会計委員会

- 5, ブロック顔合わせ・委員長・副委員長確認 日程等打ち合わせ
- 6, その他
- 7, 閉会の挨拶



都中体連バドミントン部公式ホームページ http://tokyo-ctrbad.com/

東京都中学校体育連盟バドミントン部

検索

2019年度

役員•委員

顧問 田極政一郎(武蔵野市教育委員会)

島 朝樹

渡辺 英俊

役員 部 長 千葉 俊信(江 東・砂 町 中)

副部長 中居 光仁(町 田・鶴 川 中)

原 善哉(昭 島・成 隣 小)

溝口 千里 (練 馬・旭 丘 中)

横田 和長(杉 並・松 / 木中)

会計監査委員 遠藤 淳(西東京・保 谷 中)

推薦常任委員(各実務委員 委員長・副委員長)

鈴木 寛 (大 田・	羽 田 中) 難波	裕司 (多	摩・落 合 中)
中尾 佳彦 (北 ・	王子桜中) 吉田	篤郎 (江	東・第二南砂中)
清水 正人 (調 布・	第三中) 今村	吾朗 (練	馬・石神井西中)

推薦専門委員(各実務委員)

青森 一博	(八王子・第 六 中)	洲鎌 修	(文 京・本郷台中)
合田 洋平	(東大和・第 一 中)	中條 洋一	(江 東・有明西学園中)
今川 美香	(世田谷・鳥 山 中)	井上 幸治	(世田谷・喜多見中)
小野寺達彦	(豊 島・淑徳巣鴨中)	磯貝 友美	(板 橋・第一中)
柳井 香里	(杉 並・中瀬中)	赤松 彩香	(世田谷・尾山台中)

ブロック役員 (委員長・副委員長)

	ブロック委員長	ブロック副委員長				
A	下川 勝久 (大 田・大森二中)	佐藤 雄司 (新 宿・牛込一中)				
В	新井 博幸(板 橋・志村二中)	飯田 到 (練 馬・旭 丘 中)				
С	笹木健一朗(葛 飾・常 盤 中)	吉田 洋之(墨 田・墨田中) 吉澤 政人(台 東・柏葉中)				
D	中居 光仁(町 田・鶴川中)	氏井 聡 (八王子・四 谷 中) 馬場 公浩(多 摩・鶴 牧 中)				
Е	髙寺 徹 (小 平・第二中)	石原 春彦(武蔵村山・第三中)				
F	和久 碧 (神 津・神 津 中)	黒澤 晶 (小笠原・小笠原中)				

実務委員会

総務委員会

委員長 難波裕司(落合中)

副委員長 石原春彦(武蔵村山三中)

委 員 赤松彩香(尾山台中)

競技委員会

委員長 新井博幸(志村二中)

副委員長 鈴木 寛(羽田中)

委 員 今川美香(烏山中) 芝田靖孝(大鳥中) 井上幸治(喜多見中)

中條洋一(有明西学園中) 佐藤雄司(牛込一中)

飯田 到(旭丘中) 笹木健一朗(常盤中) 吉田洋之(墨田中)

吉澤政人(柏葉中) 馬場公浩(鶴牧中) 青森一博(八王子六中)

強化普及委員会

委員長 氏井 聡 (八王子四谷中)

副委員長 清水正人(調布三中) 今村吾朗(石神井西中)

委 員 磯貝友美 (板橋一中) 合田洋平 (東大和一中)

小野寺達彦(淑徳巣鴨中) 柳井香里(中瀬中)

審判委員会

委員長 中尾佳彦(王子桜中)

副委員長 吉田篤郎 (第二南砂中)

委 員 洲鎌 修(本郷台中) 下川勝久(大森二中)

会計委員

委員長 髙寺 徹(小平二中)

総務委員会

平成30年度反省

【業務内容】

- 1. 常任委員会、専門委員会招集、文書作成と発送、会議の司会と記録
- 2. 大会での開会式・閉会式の司会・運営、競技結果の記録および保管、賞状・副賞の準備、 都教育委員会体育課・都中体連本部への報告、広報活動
- 3. 反省事項と申し送り事項
 - 1) 常任委員会の招集、会議録と報告書の作成
 - → 会議録は電子データとして作成・管理することを今後も継続する。
 - 2) 監督証・役員証の管理
 - → 役員や役職が変わった際の役員証の作成を円滑に行うようにする。
 - → より円滑な管理ができるよう、監督証や役員証の形式の検討を行う。
 - 3) 都教委・中体連本部への結果報告
 - → 昨年度より電子メールによる報告に変更した。
 - → 都総体は、都総体のまとめを担当した中体連の担当者にこれまで通り送付する。
 - 4) 広報活動
 - → 指導者講習会の告知と準備・進行を行い、講習・研修会の支援を行った。
 - 5) 中体連バドミントン部公式ウェブサイトの管理
 - → 中体連バドミントン部の公式HPの作成を総務委員会で請け負うことを検討する。
 - 6) 中体連加盟校名簿の管理
 - → 各ブロックで更新を依頼したが、十分にはできなかった。
 - → 関東大会記念Tシャツの販売・配布、問い合わせなどに対応するため、名簿の作成・部員数調 査等は改めて実施をお願いしたい。
 - 7) 協会登録
 - → 各ブロックで新入生の登録作業を実施していただくことで、登録作業を早く行えた。
 - → 会員証の再発行手続きは、各学校から都協会に直接問い合わせる形でお願いしたい。
 - → 小学校で登録した生徒の引き継ぎ、顧問の異動時の引き継ぎが不十分なことが多い。また、自 治体によって電子データが送付できないケースがあり、対応に苦慮している。

2019年度業務予定

【業務分担】

1.	常任委員会・専門委員会の招集、司会進行	難波	石原		
2.	会議録と前回の常任委員会の報告書作成		石原		
3.	開閉会式の司会進行	難波	石原		
4.	賞状・副賞準備		石原	赤松	
5.	監督証・役員証の管理	難波			
6.	都教委・中体連本部への結果報告	難波		赤松	
7.	中体連バドミントン部公式サイト管理	難波		赤松	
8.	競技結果の記録および保管		石原	赤松	
9.	広報活動	難波			
10.	専門委員名簿・常任委員名簿の作成			赤松	
1 1.	加盟校名簿の更新			赤松	
12.	協会登録	難波	石原		
1 3.	関東大会50周年記念行事準備			赤松	

東京都総合体育大会

東京都中学校バドミントン選手権大会 兼 開会式について

- 兼 関東中学校バドミントン大会予選会
- 1. 団体戦の日は、受付を済ませた後、選手は各ブロックの整列位置に移動し、9時15分までに整列を完 了してください。
- 2. 整列位置の詳細は常任委員会で配布しますが、以下を原則とします。
 - ・プラカードを持つ生徒は、各ブロック女子1位の主将とします。

 - ・プラカードを持っている生徒の後ろに、各校1列で並んでください。 ・各ブロックとも本部に向かって右 に男子、左に女子となるように並んでください。 ・1位・2位が最前列、1位の後ろに奇数順位の学校、2位の後ろに偶数順位の学校が並びます。
- 3. 入場行進は、プラカードとの間隔を約2メートル空けて、その後ろを列を揃えて行います。
- 4. 退場行進は、Aブロックの男子に続いて女子、Bブロックの男子・・・のようにプラカードを持った生徒に続いて行進します。なお、会場の都合によっては、外側のブロックから同時に実施したり、退場行進 自体を行わないことがあります。
- 5. 式次第
 - ①開会宣言
 - ②優勝杯(団体及び個人)返還ならびにレプリカ授与

ダブルス=淑徳巣鴨 男子:団体=小平二 シングルス=山崎 女子:団体=小平二 シングルス=小平二 ダブルス=小平二

- ③挨拶
- ④大会実施上の諸注意

競技上の注意 競技役員長 競技審判長] 審判上の注意 [会場指導委員長] 会場使用上の注意]

⑤閉式通告

都大会表彰規定

大会名	種目	順位	賞状	副賞
		1位	都中体連	カップ (要返却)・メダル (5cm8個)
	団体	2位	都中体連	メダル (5cm8個)
春季		3位	都中体連	メダル (5cm8個)
个子		1位	都中体連	メダル (6cm)
	個人	2位	都中体連	メダル (6cm)
		3位	都中体連	メダル (6cm)
	団体	1位	都教委+都中体連	カップ(都中・要返却)・メダル(都教委・ <u>6cm8個</u>)
		2位	都教委+都中体連	メダル (都教委・ <u>都中6cm8個</u>)
都総体		3位	都教委+都中体連	メダル (都教委と <u>都中6cm8個</u>)
選手権	個人	1位	都教委+都中体連	カップ(要返却)・トロフィー(中体連)・メダル(都教委)
		2位	都教委+都中体連	トロフィー(中体連)・メダル(都教委)
		3位	都教委+都中体連	トロフィー(中体連)・メダル(都教委)
		1位	都中体連	カップ (要返却) ・メダル (4cm8個)
	団体	2位	都中体連	メダル (4cm8個)
新人		3位	都中体連	メダル (4cm8個)
利ハ		1位	都中体連	楯
	個人	2位	都中体連	楯
\• \ = \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Wh ~ 1 13	3位	都中体連	植

- ※団体戦のメダル(新人4cm、春5cm、夏6cm)は各校8個を用意する。
- ※個人のメダル (6 cm) は、一人1個を用意する。
- ※賞状は、団体: A3 版ノビサイズを各校1枚 個人: A4 版ノビサイズを各人1枚用意する。
- ※選手権大会の賞状・副賞(団体:メダル・個人:トロフィー)は都教委に加え中体連も授与する。
- ※関東大会出場校には別途賞状を授与する。
- ※春季大会・新人大会(団体戦)前年度1位にはレプリカを授与する。

	種目	優勝	準優勝	3 位	3 位
	男子団体	淑徳巣鴨	小平二	大泉	西新井
	女子団体	小平二	淑徳巣鴨	東京家政学院	八王子二
春	п - 7	宮川友結	柳川蓮	佐藤憲蔵	髙橋知也
季	男子シングルス	山崎	小平二	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨
7	田フがゴリっ	近藤・石崎	福岡・吉岡	伊藤・熊谷	三浦・小沼
大	男子ダブルス	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	小平二	淑徳巣鴨
会	たマン x かリ つ	大竹璃菜	小林なつみ	藤田美咲	野口美沙希
4	女子シングルス	小平二	新町	明保	山崎
	1. フ. ゲーブリーフ	岩瀬・宮下	熊澤・和光	田中・前川	長谷見・皆川
	女子ダブルス	淑徳巣鴨	小平二	東京家政学院	小平二
	男子団体	小平二	淑徳巣鴨	大泉	旭丘
選	女子団体	小平二	淑徳巣鴨	東京家政学院	明保
	男子シングルス・	宮川友結	柳川蓮	向山天殊	佐藤憲蔵
手		山崎	小平二	練馬東	淑徳巣鴨
権	男子ダブルス・ 女子シングルス・	近藤・石崎	伊藤・小原	福岡・吉岡	三浦・小沼
1		淑徳巣鴨	小平二	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨
大		田中舞緒	堤まゆき	湯本凛音	小林なつみ
会		小平二	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	新町
	ル マがブルフ	大竹・和光	岩瀬・宮下	長谷見・熊澤	田中・前川
	女子ダブルス	小平二	淑徳巣鴨	小平二	東京家政学院
	男子団体	淑徳巣鴨	小平二	実践学園	国分寺一
	女子団体	淑徳巣鴨	小平二	府中八	八王子二
新	77	佐藤憲蔵	髙橋知也	梅澤涼晴	荒井太一
人	男子シングルス	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	大泉	実践学園
/	田フルー・コー	下野・坪田	大西・小沼	田中・清水	馬場・百瀬
大	男子ダブルス	小平二	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨
会	1.72	田中舞緒	湯本凛音	藤田美咲	名取陽菜多
4	女子シングルス	小平二	淑徳巣鴨	明保	淑徳巣鴨
	ル マがブリコ	小坂・中俣	小掠・堀口	辻・萩原	河端・鶴岡
	女子ダブルス	東京家政学院	佃	淑徳巣鴨	八王子二

競技部

平成30年度 事業報告

- ・春季大会、選手権大会、新人大会の運営を円滑に行うことができた。
- ・春季大会(福生市福生中央体育館 練馬区光が丘体育館) 選手権大会(葛飾区水元総合スポーツセンター 葛飾区水元総合スポーツセンター) 新人大会(稲城市総合体育館 板橋区立上板橋体育館)

冬季大会(稲城市総合体育館、明治学院東村山高校)

3大会をを自治体の協力を得て、公共の体育館で実施することができた。冬季大会においては学校体育館での実施になった。

- ・生徒の安全確保に配慮して大会を運営した。
- ・組み合わせ会議では、前日までにメールで仮申し込みをすることにより、当日の組み合わせがスム ーズに行われた。
- ・参加確認書や、提出書類関係の不備が数件あったが以前より減少している。
- ・次年度の大会会場を確保した。(大会日程別紙)
- ・関東オープン大会運営
- ・総務と協力してホームページを更新した。

平成31年度 事業計画

- ・春季大会、選手権大会、新人大会の運営を円滑に行う。
- 関東大会の運営を円滑に行う。
- ・次年度の大会会場を確保する。
- ・生徒の安全確保に配慮して大会を運営する。
- ・各大会において、参加確認書の提出を徹底するようにする。
- ・総務と協力してホームページを更新する。
- ・大会会場となる体育館との事前の打ち合わせを行う。

大会実施上の規定

東京都中学校体育連盟バドミントン部

中学生として節度あるスムーズな大会の進行を期すため、応援者、卒業生なども含めて本部の指示、 及び次の規定を厳守すること。守れない場合には、出場停止を含む処分をする。

1 受付

大会開始時刻までに参加校の引率者が必ず公印を押した参加確認書を提出し、受付を済ませる。引率者が部活動指導員の場合は、部活動指導員確認書(校長承認書)も提出する。

- 2 監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者・引率者・助言者
- (1) 監督・引率者は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。複数の教員が引率する場合は、1 名を監督、他の者をコーチとする。競技フロア内では監督証、コーチ証を常に着用する。
- (2) 部活動指導員については、学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について(通知)(平成29年3月14日付け28ス庁704号)により、学校教育法施行規則第78号の2に示されているものとする。また、参加確認書の所定欄に任命者を記入すること。
- (3)外部指導者については次の条件をすべて満たし、大会本部が認めた者とする。
 - ①当該校の校長の承認のもとで、継続的に部活動の指導にあたっている20歳以上の者で、当該年度の運動部指導者証(IDカード)の交付を受けている。
 - ②参加確認書の所定欄に氏名を記入のうえ、受付時に運動部指導者証(IDカード)を提示する。 競技フロア内では運動部指導者証(IDカード)を常に着用する。運動部指導者証を申請中の場合は、申請書のコピーを受付時に提示し、外部指導者証を受け取り、競技フロア内では常に着用する。なおIDカードには写真を貼付すること。
- (4) 助言者は校長が承認した者とし、参加確認書の所定欄に氏名を記入し、競技フロア内では助言者証を常に着用する。
- (5) 個人戦の引率については、日常指導している校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長が やむを得ないと判断した場合に限り、「東京都中学校体育大会監督・引率細則」により、学校 長が承認した者の引率による参加を認める。その場合、東京都中学校体育大会監督依頼報告書 を受け付け時に提出する。

書類は東京都中学校体育連盟のホームページからダウンロードすること。

- ①監督は校長が当該地区の専門委員、または都常任委員に所定の手続きをもって依頼し、当人の承諾を得る。
- ②引率者は次の中から、校長が認めた者とする。
 - i 当該校の学校職員(日常指導している校長・教員・部活動指導員以外)
 - ii 当該校の部活動を指導している外部指導者
 - iii 当該生徒の保護者
- (6) 校長・教員・部活動指導員以外の引率者には、監督の資格を認めない。依頼された監督の任務 は、会場における監督者会議への代理出席とその内容の伝達にかかわること(大会出場中の安 全管理も含む)のみとし、ベンチ入りはできない。
- (7) 監督・引率者は応援の者を含めて、最後まで責任をもって生徒を指導する。また、監督・コーチ・外部指導者・助言者は、大会要項・競技規則・大会実施上の規定・本部の指示などを遵守し、大会運営に協力する。
- (8) 大会に出場する参加校の引率者、監督、部活動指導員、外部指導員、助言者等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者とする。

3 試合

- (1) 試合では常にフェアプレーを心がけ、行動を速やかにする。また、相手を威嚇したり、不快の念を抱かせないようマナーに注意する。
- (2) 汗ふき及び水分補給、靴ひもの締め直し、ラケットの交換等が必要な場合は、主審の許可を得る。ただし、水分補給はフロアでの水分補給が認められている場合のみとし、入れ物はフタの 閉められるものとする。
- (3) 団体戦の試合前後には、選手と監督が整列し、あいさつをする。
- (4) 団体戦では、対戦相手が決まり次第速やかに本部にオーダーを提出し、選手は会場内に待機する。

- (5) 団体戦の1対抗を複数コートで行う場合、試合順にかかわらず団体の勝敗が決した時点で他の 試合を打ち切る場合がある。
- (6) 団体戦でコートサイドの選手席に入れるのは、当該校の登録選手及び監督・コーチ・外部指導者とする。コーチ席にはそのうち2名以内とする。 コーチ席には公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し試合にふさわしい服装で臨み、体育館シューズで入場すること。(スリッパ・サンダル・裸足は不可)
- (7)選手はシャトルがインプレーでないときに限り、コーチ席より試合中にアドバイスを受けることができる。ただし、プレーの進行を遅らせてはならない。
- (8) インターバルの時に競技区域内でアドバイスできるのは、当該校の監督・コーチ・外部指導者・助言者・生徒1名のうち2名以内とする。
- (9) インターバルを除いて、選手は主審の許可なくコートを離れることはできない。
- (10) 審判への質問については、審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。

4 服装

- (1) 頭髪、服装は大会の品位を損なわないものとし、さっぱり整える。服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。シャツは東京都中学校体育連盟バドミントン部認定のウェア (関東記念ウェア過去3年まで)・白単色の襟付きについては、着用を認める。また、ウェアから極端にはみ出すタイプのインナー等の着用は認めない。
- (2) 上衣の背中中央部には、縦20cm 横30cm の範囲内に校名(○○中とする)の表示をすること。また、校名の下に姓を入れるのが望ましい。文字は日本文字(楷書)で明記すること。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字目を小さく入れること。シャツの地色が黒または紺色と同系色で、文字が見えにくい場合は文字を白色とする。
- (3) ウェア(上衣)の裾はマナーとして下衣に入れること。
- (4)健康器具などのネックレスや手首等にバンドなどを着用しての試合を禁止する。

5 応援・会場使用

- (1) 応援は拍手のみを原則とし、会場全体の試合の妨げにならないようにする。フロアーでの写真やビデオの撮影については原則不可とする。フロアーを除く会場内での撮影は許可するが、会場の電源の使用はしない。報道機関や学校から依頼された業者(卒業アルバム等)等の撮影については、事前に競技役員に許可を取る。
- (2) 個人で撮影した画像や動画をSNSなどを通じて、インターネット上に公開しない。
- (3) 空いたコートを勝手に使用しない。また、競技フロア内では試合の進行を妨げないように注意する。
- (4) 体育館シューズと外履きの区別は会場の規定をしっかり守る。
- (5) 指定された場所以外には、絶対に立ち入らない。
- (6) カン・ビン類、菓子類は一切持ち込まない。
- (7) 昼食は指定された場所でとる。ゴミは必ず持ち帰り、会場やその周辺には残さない。
- (8) 更衣室には荷物を放置しない。特に貴重品は各自又は学校ごとに管理する。
- (9) その他、会場の使用にあたっては、会場の規定及び本部の指示に従う。

6 審判

- (1) 試合に負けた学校及び本部より指定された学校の生徒は、ただちに、本部の指示に従って、指定された試合の審判(主審・線審・得点表示)を担当する。
- (2) 審判は厳正にてきぱきと行う。疑問点は本部に問い合わせる。
- (3) 線審は一ヶ所に一名のみ着席し、明確に判定する。
- (4)試合終了後はすぐに本部に用具(含シャトル)を返し、結果を報告する。
- (5) 会場内の付属物にシャトルが触れた場合にはフォルトとする。
- (6)次の場合には棄権とみなす。
 - ①怪我等で試合の続行が不可能な時。
 - ②主審の判定に服さない時。

7 危機管理対応

- (1) 各学校の引率者は、学校から会場までの往復の経路間での事故や災害(雷雨等)など緊急時の 連絡方法や避難場所、避難方法等の確認をする。
- (2)会場内の避難経路を確認する。
- (3) 地震、火災等発生時は、本部や体育館担当者の指示に従って行動する。
- (4) 事故等が発生したら、本部へ連絡する。
- (5) 生徒の健康観察をしっかり行う。生徒の健康安全を第一に考える。

8 その他

- (1) 試合時間、コートなどが変更される場合があるので、常に進行の状況や放送に注意する。
- (2) 本部の指示に注意し、直ちに指示通りに行動する。
- (3) その他、不明な点、疑問などは本部に問い合わせる。
- (4) この規定は、2019年4月18日より実施する。

2019年度 大会実施要項

大会名

- (1)第36回東京都中学校バドミントン春季大会
- (2) 第58回東京都中学校総合体育大会・第66回バドミントン選手権大会 兼 第50回関東大会予選
- (3)第62回東京都中学校バドミントン新人大会
- 主催・主管・期日・会場・参加数・申込期日別表の通り

3.種 目

男子団体・女子団体・男子シングルス・女子シングルス・男子ダブルス・女子ダブルス

4.競技規則

現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程及び都中体連バドミントン部大会実施上の規定による。

5.競技方法

原則としてトーナメントにより行う。すべての大会で順位決めのため、3位決定戦を行う。選手権大会では、女子団体で第五代表決定戦を行う。ただし、春季大会・新人大会では3位が同一ブロックの場合は行わない。また、選手権大会では、関東大会のための代表決定戦を行う(全種目6本)

団体戦は、5名以上8名以内で構成した学校対抗戦とする。1対抗は複1・単・複2の順でいずれか2 点先取で勝敗を決定する。1選手は1対抗に1回のみ出場できる。(単複兼ねられない)

6.参加資格

東京都中学校体育連盟バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロックの代表と認められたものとする。 ただし、新人大会には3年生は参加できない。個人戦の参加は一人一種目とする。

会場枠として、会場を確保した者の所属校、所属地区またはブロックから、当該会場で行われる種目に各1本ずつ参加できる。

氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。

7.監督・引率者

参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。個人戦の引率については、日常指導している校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「東京都中学校体育大会監督・引率細則」により、学校長が承認した者の引率による参加を認める。

8.シャトル

ヨネックス・メトロ・落合コーポレーション・VICTOR、4社の検定水鳥球とする。

9.参加費

団体戦 1校男女各 5,000円 シングルス 一人1,000円 ダブルス一組1,500円

10.申し込み

各ブロック委員長または副委員長が、参加費を添えて常任委員会に持参し申し込む。委員長・副 委員長が、出席できない場合は、そのブロックの専門委員が代わって申し込む。

また、申し込み期日前日の正午までに、申込書を所定のメールアドレスに送信する。

11.組み合わせ

原則として、申込期日に常任委員会を開催し、常任委員が組み合わせを作成する。

大会期日・会場等一覧

別表

大会名	主催(主管)	期日	種目	会場(会場担当)	参加数	申込期日
第36回	都中体連	5/26(日)	団体	武蔵野の森スポーツ	ブロック各4	5/23 (木)
春季大会	(バドミントン部)			プラザサブアリーナ	新人大会ベスト4	
				(D ブロック)	はそのブロックに	
		6/2(日)	個人	練馬区光が丘体育館	プラス 1	
				(B ブロック)	★会場枠+1	
第58回	都教委	7/23 (火)	団体	葛飾区水元	ブロック各4	7/20 (土)
都総体	都中体連			総合スポーツセンター	春季大会ベスト8	
第66回	(バドミントン部)			(C ブロック)	はそのブロックに	
選手権大会		7/24 (水)	個人	葛飾区水元	プラス 1	
第50回				総合スポーツセンター	★会場枠+1	
関東大会予選				(C ブロック)		
第62回	都中体連	11/23 (土)	団体	稲城市総合体育館	ブロック各4	11/19 (火)
新人大会	(バドミントン部)			(D ブロック)	選手権大会ベスト	
					4はそのブロック	
		11/30 (土)	個人	練馬区総合体育館	にプラス1	
				(B ブロック)	★会場枠+1	

※都中体連主催以外の大会日程

全日本ジュニア選手権大会東京都予選会 8月15日(木) 会場:多摩市総合体育館 第3回ステップアップトーナメント大会

第21回東京都冬季大会

1月25日(土) 会場:練馬区総合体育館

26日(日) 会場:稲城市総合体育館

第50回関東中学校バドミントン大会 8月6日(火)~8月8日(木) 会場:墨田区総合体育館第20回全日本中学生バドミントン選手権大会 3月27日(金)~3月29日(日)

会場:エスフォルタアリーナ八王子

都大会今後の予定

	2019年度	2020年度	2021年度以降
春季	実施	実施しない	協会主催で実施予定
夏季	実施	実施(5月~6月)	実施(例年通りの日程)
JOC	実施	実施(6月~7月)	実施(例年通りの日程)
新人	実施	実施(例年通りの日程)	実施(例年通りの日程)
冬季	実施	実施(例年通りの日程)	実施(例年通りの日程)

東京都中学校体育連盟会長 新宮領 毅都中体連バドミントン部部長 千葉 俊信

2019年度

第36回東京都中学校バドミントン春季大会

実施要項

- 1, 主 催 東京都中学校体育連盟
- 2,後援東京都バドミントン協会
- 3, 主 管 都中体連バドミントン競技部
- 4、協 賛 ヨネックス(株)・(株)メトロ・(株)落合コーポレーション・(株)VICTOR SPORTS
- 5,期日5月26日(日)武蔵野の森スポーツプラザサブアリーナ 団体戦 9:00開場 9:15 開会式会場6月2日(日)練馬区光が丘体育館個人戦 9:00開場 9:15 開会式
- 6,種目 男女団体、及び個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)
- 7,競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判 員規程ならびに大会運営規定に準じる
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3位決定戦は行う 団体戦 2複1単(単複兼ねられない) D1·S·D2の順 2点先取
- 9,参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒 氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数 ・各ブロック男女各4チーム(人・組)
 - ・新人大会ベスト4のブロックはプラス入賞数
 - ・会場枠該当校はその種目プラス1
- 11,参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1 校男女各5,000円 単 1,000円 複 1,500円
- 13,組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う

[5月23日(木) 15:00~ 新宿区立牛込第一中学校]

- 14、表彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15,シャトル ヨネックス・メトロ・落合コーポレーション・VICTOR、4 社の検定水鳥球と する。
- 16, その他 ・参加校の校長・教員・部活動指導員が引率し、受付時間内に参加確認書を提出 し受付を済ませること。部活動指導員が引率した場合には、部活動指導員確認 書も併せて提出すること。個人戦の引率については、「東京都中学校体育大会 監督・引率細則」に基づき学校長が承認した者も可とする。
 - ・外部指導者がベンチ入りを希望する場合は、参加確認書に氏名を記入し、運動 部指導者証(IDカート)を着用すること。なおIDカードには写真を貼付すること
 - ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりすること。
 - ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェアー(過去3年まで)の着用は認める。背中に規定の校名をつける。
 - ・ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
 - ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
 - ・参加校は審判団として選手を含め4人を用意する

各中学校長様 バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 新宮領 毅都中体連バドミントン部部長 千葉 俊信

2019年度

第58回東京都中学校総合体育大会 第66回東京都中学校バドミントン選手権大会 第50回関東中学校バドミントン大会予選

実施要項

1, 主 催 東京都中学校体育連盟

2,後援東京都バドミントン協会

3, 主 管 都中体連バドミントン競技部

4,協 賛 ヨネックス(株)・(株)メトロ・(株)落合コーポレーション・(株)VICTOR SPORTS

5,期日 7月23日 (火) 葛飾区水元総合スポーツセンター 団体戦 9:00開場 9:15 開会式 会場 7月24日 (水) 葛飾区水元総合スポーツセンター 個人戦 9:00開場 9:15 開会式

6,種目 男女団体、及び個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)

7,競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判 員規程ならびに大会運営規定に準じる

8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3位決定戦は行う 団体戦 2複1単(単複兼ねられない) D1·S·D2の順 2点先取

関東大会のための代表決定戦を行う(全種目6本)

9,参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒 氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。

10, 参加の数 ・各ブロック男女各4チーム(人・組)

・春季大会ベスト8のブロックはプラス入賞数

・会場枠該当校はその種目プラス1

11、参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む

12, 参加費用 団体 1 校男女各5,000円 単 1,000円 複 1,500円

13, 組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う

[7月20日(土) 14:00~ 新宿区立牛込第一中学校]

14、表彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する

15,シャトル ヨネックス・メトロ・落合コーポレーション・VICTOR、4 社の検定水鳥球と する。

16, その他

- ・参加校の校長・教員・部活動指導員が引率し、受付時間内に参加確認書を提出 し受付を済ませること。部活動指導員が引率した場合には、部活動指導員確認 書も併せて提出すること。個人戦の引率については、「東京都中学校体育大会 監督・引率細則」に基づき学校長が承認した者も可とする。
- ・外部指導者がベンチ入りを希望する場合は、参加確認書に氏名を記入し、運動 部指導者証(IDカード)を着用すること。なおIDカードには写真を貼付すること。
- ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりすること。
- ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェアー(過去3年まで)の着用は認める。背中に規定の校名をつける。ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
- ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
- ・参加校は審判団として選手を含め4人を用意する

東京都中学校体育連盟会長 新宮領 毅都中体連バドミントン部部長 千葉 俊信

2019年度

第62回東京都中学校バドミントン新人大会

実施要項

- 1, 主 催 東京都中学校体育連盟
- 2,後援東京都バドミントン協会
- 3, 主 管 都中体連バドミントン競技部
- 4,協替 ヨネックス(株)・(株)メトロ・(株)落合コーポレーション・(株)VICTOR SPORTS
- 5,期日11月23日(土)稲城市総合体育館団体戦 9:00開場 9:15 開会式会場11月30日(土)練馬区総合体育館個人戦 9:00開場 9:15 開会式
- 6,種目 男女団体、及び個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)
- 7,競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判 員規程ならびに大会運営規定に準じる。
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3位決定戦は行う 団体戦 2複1単(単複兼ねられない) D1·S·D2の順 2点先取
- 9,参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒 氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数 ・各ブロック男女各4チーム (人・組)
 - ・選手権大会ベスト4のブロックはプラス入賞数
 - ・会場枠該当校はその種目プラス1
- 11、参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1 校男女各5,000円 単 1,000円 複 1,500円
- 13,組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う

[11月19日(火) 15:00~ 新宿区立牛込第一中学校]

- 14、表彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15,シャトル ヨネックス・メトロ・落合コーポレーション・VICTOR、4 社の検定水鳥球と する。
- 16, その他 ・参加校の校長・教員・部活動指導員が引率し、受付時間内に参加確認書を提出 し受付を済ませること。部活動指導員が引率した場合には、部活動指導員確認 書も併せて提出すること。個人戦の引率については、「東京都中学校体育大会

監督・引率細則」に基づき学校長が承認した者も可とする。

- ・外部指導者がベンチ入りを希望する場合は、参加確認書に氏名を記入し、運動 部指導者証(IDカート)を着用すること。なおIDカードには写真を貼付すること
- ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしつかりすること。
- ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェアー(過去3年まで)の着用は認める。背中に規定の校名をつける。
- ・ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
- ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
- ・参加校は審判団として選手を含め4人を用意する

団体戦 参加確認書

(選手登録用紙)

(男子・女子)

大会名	第 回 東京都中学	校バドミントン	大会	
期日	年 月 日		ブロッ	ク
	登録	選手名		
1		5		年
2		6 年		午
3		7		年
4		8		年

		校長		任命者(部活動指導員)	
ふりがな 監 督			教員		
<u>m.</u> =		部活動	動指導員		
コーチ			助言者		
外部指導者			※ここは本部	記入用です。記入しないで下さい。	
(1名)			IDカード・	申請中(外部指導者証番号)

上記の通り参加します。

学校名	
校長名	公 印

- ※ 上記の監督は参加校と同じ学校の教員もしくは部活動指導員であること
- ※ 上記の監督が部活動指導員の場合、部活動指導員欄に〇印をし、任命権者を記入すること
- ※ 選手名はフルネームで記入してください。
- ※ 登録選手以外は、試合に出場できません。提出後の選手変更はできません。
- ※ 複数の教員で引率する場合は、1名を監督、他方をコーチとして登録してください。
- ※ 大会当日、受付に提出して、監督証・コーチ証・助言者証を受け取り、必ず着用してください。
- ※ 外部指導者は、運動部指導者証(IDカード)を提示し、必ず着用してください。申請中の場合は、申請書のコピーを提示し、外部指導者証を受け取ってください。

個人戦 参加確認書 (男子・女子)

大会	会名	第回	東京都中	中学校	バド	ミント	ン大会	
期	日	年 月	日				ブロ	コック
	1位			年		1位-		年年年
	2位			年		2位-		年年
シ	3位			年	Li'	3位-		年
ン	4位			年	ダブ	4位-		年年
グル	位			年	ル	位一		年年
ス	位			年	ス	位一		年
	位					位一		年
	位			<u>年</u> 年		位 -		年年年
ふり 監	がな 督				校長 教員 動指導		任命者(部活動指導員)	<u> </u>
コー	ーチ				助言	言者		
外部打 (14	指導者 名)						己入用です。記入しないで下さい。 申請中(外部指導者証番号)
引率す	者氏名			引率	者の身	身分	学校職員・外部指導者・保	護者
	上記	の通り参加します。		学校	名			
				松皂	夕			ΛΥFΠ

- ※ 上記の監督は参加校と同じ学校の教員もしくは部活動指導員であること
- ※ 上記の監督が部活動指導員の場合、部活動指導員欄に〇印をし、任命権者を記入すること
- ※ 選手名は該当のところのみフルネームで記入し、フリガナを付けてください。
- ※ 複数の教員で引率する場合は、1名を監督、他方をコーチとして登録してください。
- ※ 大会当日、受付に提出して、監督証・コーチ証・助言者証を受け取り、必ず着用してください。
- ※ 外部指導者は、運動部指導者証(IDカード)を提示し、必ず着用してください。申請中の場合は、申請書のコピーを提示し、外部指導者証を受け取ってください。

審判委員会《2018年度 事業報告》

1. 運営に関して

- (1) 初回戦の審判・・・シード校を中心に入れた。複数のシードを持つ学校があった場合は1面のみで依頼するように配慮した。他は試合時間が一番遅い学校から順にお願いするようにした。どの学校も快く引き受けてくれた。
- (2) 準決勝、決勝、3決の線審・・・ベスト8で敗退した学校に複数回担当してもらった。割り振りは競技部。
- (3) 要項に審判団 4名を用意することと明記してもらった。
- (4) 教員審判・・・春季、選手権、新人、冬季大会の準決勝、決勝、3決を教員審判で行った。審判部だけでなく大会委員の他の先生方の協力を得た。競技委員長よる審判手帳への押印を実施。
- (5) 会場・コートに関して・・・
 - *大会開始前に計測器でネットの高さを直した。試合の合間に緩んでいるときは張り直した。
 - *ラインジャッジの椅子は原則として主審から見て右手前と左奥に配置した。
 - *コーチ席をエンドライン側に配置する場合、ラインジャッジの椅子から離して置くようにした。
 - *可能な限り、コーチ席背もたれとライン間を2m空けるようにした。
 - *ポストとネットの結び目に隙間ができるときはスズランテープで補強した。

2. 主審に関して

- (1) シャトルの交換に関して・・・シャトル交換の際、主審はコートを離れないようにさせ、線審に頼んで本部へ交換に来させた。また、競技を中断しないために、予備のシャトルが残り1個になったらインターバルの時間を使って交換するようにさせた。
- (2) サービスフォルトに関して・・・アヴァブザハンド、アヴァブザウエストのフォルトは、判断に迷う 微妙な場合は1度注意を与える(「次からはフォルトにします」と伝える)ようにした。
- (3) ストップウォッチの使用に関して・・・インターバルでストップウォッチを使用し「20秒」のコールをするよう開会式で告げた。

3. その他、競技中の対応について

- (1) 試合中のけが・・・生徒主審には本部役員を呼ぶこと、コーチ席の顧問等がコート内に勝手に入らないようにすることを開会式で注意した。競技中の足のけいれんは、競技役員長の判断でけがと認めずプレーを続行させた。
- (2) 主審への質問・・・団体戦の場合は監督または当該プレーヤー、個人戦の場合は当該プレーヤーが丁寧に質問するよう指導した。
- (3) コーチ席・・・同一校の試合が複数のコートで行われている場合、コーチ席の移動はラリー間にするよう開会式で伝えた。

4. その他

- (1)公認審判員規定の理解と指導について・・・各校で生徒向けに配布できるように主審のコールの仕方、 スコアシートの記入見本を総会冊子やプログラムに掲載した。
- (2) 顧問の3級審判資格の取得に関して・・・各区市協会主管の公認審判員資格検定会のお知らせを都中体連バドミントン部のホームページに掲載した。

審判委員会《2019年度 事業計画》

1. 運営に関して

- (1) 準決勝、決勝、3決の試合はベスト8で敗退した学校に複数回担当してもらう。(特に団体戦)
- (2) 敗者校審判制なので、参加校は審判団として選手を含め4人を用意するよう要項に記載する。
- (3) 教員審判・・・春季、選手権、新人、冬季大会の準決勝、決勝、3決は教員が主審を務める。
- (4)会場・コートに関して
 - *大会開始前にネットの高さを計測する。途中、緩んでいるときは張り直す。
 - *線審の椅子は右手前と左奥に配置する。
 - *コーチ席をエンドライン側に配置する場合、線審の椅子から離して置く。
 - *可能な限り、コーチ席背もたれとライン間を2m空ける。
 - *ポストとネットの結び目に隙間ができるときはスズランテープで補強する。
 - *会場担当校(地区・ブロック)生徒に適宜モップがけを依頼したい。(シャトル片の掃除のため)
- (5) 短縮ポイントの確認

ブロックや地区大会で短縮ポイントを採用する際には、競技規則に則って、「21点1ゲームマッチ」または「15点3ゲームマッチとして延長は21点まで」とする。

2. 主審・線審に関して

- (1) 審判団の準備が出来たら、選手のたちの練習を止めさせ、試合を開始する。
- (2) コール・・・21 点目をコールしたり、「ファーストゲーム・ラブ・オール・プレー」などと昔ながらの審判用語を使う場面が多いので、「主審のコールの仕方」を熟読させる。
- (2) サービスフォルト・・・判断に迷う微妙な場合は1度注意を与える(「次からはフォルトにします」 と伝える)ようにさせ、プレーヤーの自覚を促すようにしたい。
- (3) 不品行な振る舞い・・・過度な奇声を発するプレーヤーには注意を与えるよう指導する。
- (4)シャトルの交換・・・プレーを中断させないために、予備のシャトルが残り1個になったら本部に交換に行くよう指導する。「主審はコートを離れない」「線審に頼んで交換」「インターバルの時間を使って交換」を徹底させる。
- (5) スコアシート・・・上部プレーヤー名横の「ライト(R)」「レフト(L)」の記入欄に○を付けるようにさせる。ダブルスの最初のサービス・オーバー後の点数の記入欄に間違いが多いので注意を促す。 生徒審判が本部に報告した時に記入の間違いがあれば、生徒本人に訂正させるよう心がける。
- (6) アウトの場合はジェスチャーとともに「アウト」と声を出してジャッジするように指導する。

3. 監督・コーチに対する対応について

- (1) 服装・・・マッチ(試合)にふさわしい服装で臨むこと。ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、 ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする。
- (2) アドバイス・・・団体戦で2面に開く場合や個人戦で同一校の選手が複数のコートでプレーしている時、当該選手にアドバイスをするにはそのコートのコーチ席に着座するように指導する。会場の広さ等の関係でコーチ席を設置しない場合はインターバル以外のコーチングはなしとする。
- (3) チェンジエンズ時・・・ゲーム間のインターバルでチェンジエンズしてからコーチングの徹底と指導。
- (4) モバイル機器の使用・・・モバイル機器(iPad・携帯電話等)使用による試合中のアドバイス・コーチングは禁止。コーチ席で携帯での通話はもちろんのこと、呼び出し音が鳴った場合でも競技役員長からの「警告」となる。
- (5) 試合中のけが等への対応・・・競技中に、足のけいれん等により競技続行が不能になった場合、 コーチ席の顧問等がコート内に勝手に入ることのないよう指導する。 本部役員を呼ぶように指導する。
- (6) 審判への質問・・・団体戦の場合は監督、当該プレーヤー、個人戦の場合は当該プレーヤーが質問 するよう指導する。

4. サービス高を 1. 15 mに固定にする新ルールの実施について

2019年度よりサービス高について、日本バドミントン協会競技規則を以下の通り改訂します。 (従前の同条同項の文書は抹消されました)

第9条第1項(6)サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から 1.15m以下でなければならない。

日本バドミントン協会では、今年度、暫定処置として以下の判定方法をとる方針です。

「ポストやプレーヤーの着衣にコート面から 1. 15mの高さのところにテープやリボンなどでマークを付け、そのマークを基準にコート面から 1. 15mの高さのところに水平面をイメージし、判定をする」

このことをふまえ、東京都中体連バドミントン部としては、以下の方法により実施します。

- ① ポストの、主審の見える位置に、床から1.15mの高さのところにテープをはる。 ただし、テープの上部が1.15mの位置になるようにはる。 テープの素材や幅は特に規定なし。(養生テープでもよい)
- ② サーブの際の高さ判定は、テープの位置から水平面をイメージし、判定をする。
- ③ サービスジャッジ(副審)がつかない場合は、主審がこの判定を行う。
- ④ 大会終了後、テープをはがす。

地区、ブロック大会におきましても、本規則の周知徹底をお願いします。

5. 公認審判員規定の理解と審判技術の指導について

ブロック、地区大会のプログラムに掲載用、各校で配布用に「主審のコールの仕方」をホームページに アップしてある。地区、ブロック大会でもできるだけ都大会と同じように行ってほしい。

- 6. 3級審判員資格取得への普及活動
 - (1) 都協会の審判検定会の情報をホームページに掲載して、資格取得の為の普及を図る。各ブロックの専門委員の中に複数の有資格者を配置したい。顧問は「都中体連バドミントン部」で日バに登録できる。
 - (2) 都バドミントン協会では取得希望者数の把握が困難なので、各支部(区市町村)で登録している顧問で審判検定を希望される方は、各支部を通じて都バドミントン協会に検定会の開催を依頼してください。

主審のコールの仕方

- ① 最初のサービングサイドとレシービングサイドを決めるとき 「トス(じゃんけん)をしてください」
- ② プレーヤーを紹介するとき…省略
- ③ マッチ (試合)を始めるとき→「ラブ・オール、プレー」(「ファーストゲームラブオールプレー」とは言わない)
- ④ フォルトが起きたとき→「フォルト」(明らかなときは省略してよい) レシーバーのフォルト→「フォルト、レシーバー」 サーバーのフォルト→「フォルト、サーバー」
- ⑤ レットにするとき→「レット」
- ⑥ サービングサイドがラリーに負けて、相手側のサービスになるとき 「サービス・オーバー」(必要なら、手で新しいサーバーと正しいサービスコートを指す)
- ⑦ スコアをコールするときの例
 - (1) サービングサイドのスコアが8、レシービングサイドのスコアが3 「エイト・スリー」
 - (2) 5対5の同点→「ファイブ・オール」
 - (3) 第1ゲーム(または第2ゲーム)で、一方のサイドのスコアが11点に達した とき(11-8の場合)→「(サービスオーバーのときは、「サービス・オーバー」と言ってから)11-8、インターバル」
 - (4) 60 秒のインターバルが 40 秒経過→「~コート、20 秒 (2回繰り返す)」
 - (5) インターバルが終わったら→「11-8、プレー」
 - (6) サービングサイドがあと1点でゲームが終了するとき(例20-14の場合) 「20ゲーム・ポイント・14」
 - (7) サービングサイドがあと1点でマッチ(試合)が終了するとき 「20 マッチ・ポイント・14」
 - (8) スコアが 20 点オールになったとき→「20 オール」
 - (9) 一方のサイドのスコアが 29 点に達したとき(例 29-28 の場合) 「29 ゲーム・ポイント (またはマッチ・ポイント)・28」
- ⑧ 第1ゲームが終了したとき
 - 例 Xさん (A中学校) が21対18で勝った

「ゲーム(ストップウォッチを ON にする)、ファースト・ゲーム・ワン・バイ・Xさん、A中学校、21-18(1 ゲーム目 21 対 18 でXさん、A中学校の勝ちです)」(最後の 21 点目はコールせず、シャトルがコートに着いた瞬間に「ゲーム」とコールする)

- ⑨ エンドを交替させるとき→「チェンジ・エンズ」
- ⑩ 120 秒のインターバルで 100 秒経過したとき→「~コート、20 秒 (2回繰り返す)」
- ① 第2ゲームを始めるとき「セカンド・ゲーム、ラブ・オール、プレー」
- ② 第2ゲームが終了して、第3ゲームに入るとき
 - 例 第1 ゲームで負けたYさん (B中学校) が21 対15 で第2 ゲームに勝った 「セカンド・ゲーム・ワン・バイ・Yさん、B中学校、21-15、ワン・ゲーム・オール」
- ⑬ 第3ゲームを始めるとき→「ファイナル・ゲーム、ラブ・オール、プレー」
- ④ 第3ゲームで、一方のサイドが11点になったとき「11−?、チェンジ・エンズ、インターバル」、(移動後)「プレー」
- ⑤ マッチ (試合) が終わったとき
 - 例 Xさん (A中学校) が 21 対 18、17 対 21、21 対 10 でマッチ (試合) に勝った 「マッチ・ワン・バイ・Xさん、A中学校、21-18、17-21、21-10 (この試合は、21-18、17-21、21-10で、Xさん、A中学校の勝ちです)」
- 16 一方のサイドが棄権してマッチ (試合) が終了したとき
 - 例 Yさんが棄権して、Xさんがマッチに勝った

「Yさん、B中学校、棄権。マッチ・ワン・バイ・Xさん、A中学校(全スコア)」

- ① 違反したサイドを呼んで
 - (1) 警告を宣告するとき→「ウォーニング・フォー・ミスコンダクト」
 - (2) フォルトを宣告するとき→「フォルト・フォー・ミスコンダクト」
- 18 一方のサイドが失格してマッチ (試合) が終了したとき
 - 例 Yさんが失格して、Xさんがマッチに勝った

「Yさん、B中学校、失格。マッチ・ワン・バイ・Xさん、A中学校(全スコア)」

⑩ 線審が明らかに間違った判定をしたと認めたときシャトルがインのとき→「コレクション・イン」、シャトルがアウトのとき→「コレクション・アウト」

その他

- ① シャトル交換が必要かどうかは主審が決定します。 (試し打ちはさせないでください)
- ② マッチ(試合)中のけがや病気の場合、必要なら本部の先生をコートに呼びます。もし出血がある場合、出血が止まるまで、あるいは傷が保護されるまでゲームを遅らせます。その際、本部の先生が主審にプレー再開の指示をします。
- ③ 近隣のコートからシャトルが飛んできたとき、邪魔になったり、気をひかないようなら「レット」は、コールしなくてかまいません。

(1) 強化練習会

期日		会場	対象
8月	1日 (水)	稲城市総合体育館	関東大会出場者
8月	23 日 (木)	駒沢運動公園体育館	アジア交流大会代表・推薦者
12月	1日(土)	葛飾区水元総合スポーツセンター	関東オープン大会都選抜選手
12月	2月 (日)	錦城高等学校	及び都強化指定選手・推薦者
12月	9月 (日)	調布市立第三中学校	JJ
12月	16 日 (日)	西東京市立明保中学校	JJ
12月	26 日 (水)	葛飾区水元総合スポーツセンター	n,
1月	14日 (月)	稲城市総合体育館	都新人大会上位者及び強化指定選手
3月	10 日 (日)	調布市立第三中学校	都冬季大会上位者・1月強化練習会か
			らの選抜・推薦選手

(2) 都中学生バドミントン講習会

- ①主 旨 都中体連バドミントン部強化普及委員のもと、社会人、大学生、高校生、中学生と練習し、 競技力を向上させ、関東大会、全国大会に備える。
- ②期 日 平成31年3月29日(金)~31日(日)
- ③会 場 山梨県河口湖周辺体育館
- ④内 容 基礎・基本練習をもとに各種パターン練習、試合を行う。
- ⑤対象者 新人大会、冬季大会の結果を各強化練習会によって男女各20名程度を選考する。
- ⑥日 程

2 月 20 日 (人)	9:00	11:00 12	2:00		18:00		22:00
3月29日(金)	集合	昼食 開講式	大 実技 I		夕食	ミーティング	就寝
3月30日(土)	6:00	7:30 9:00	12:30	13:30	18:00		22:00
3月30日(上)	起床	朝練 朝食 実技]	I 昼食	実技Ⅲ	夕食	ミーティング	就寝
2 日 21 日 (日)	6:00	7:30 9:00	12:30	13:30	14:00	16:00	
3月31日(日)	起床	朝練 朝食 実技I	V 昼食	閉講式	体育館発	解散	

(3) 第36回全日本ジュニア東京都代表選手選考会

①期 日 平成30年8月15日(水)

②会 場 多摩市総合体育館

③参加者 各ブロック、小学生連盟から推薦された選手男子 14 名、女子 14 名

④結 果 男子:髙橋 知也、佐藤 憲蔵 女子:田中 舞緒、湯本 凛音 を代表に選出

(4) 第2回ステップアップトーナメント大会

- ①期 日 平成30年8月15日(水)
- ②会 場 多摩市総合体育館
- ③参加者 各ブロックの予選の上位者で、JOC東京都予選に参加しない者
- ④結 果 男子:1位:荒井 太一、2位:小沼 孝次、3位:河崎 涼平、渡邊 至

女子:1位:名取 陽菜多、2位:太田 友歩、3位:堤 まゆき、垣内 由莉愛

(5) 2018 ジュニアスポーツアジア交流大会

- ①期 日 平成30年8月24日(金)~8月26日(日)
- ②会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
- ③選 手 A:宮川 友結、近藤 新汰、石崎 陽明 B:柳川 蓮、伊藤 礼渡、小原 輝 A:田中 舞緒、大竹 璃菜、和光 綾香 B:堤 まゆき、宮下 桃佳、岩瀬 琴美
- ④戦 績 東京A:11位 東京B:6位

(6) 第17回全日本バドミントンジュニアグランプリ大会選手派遣

- ①期 日 平成30年11月23日(金)~25日(日)
- ②会 場 栃木県宇都宮市、鹿沼市
- ③選 手 宮川 友結、大竹 璃菜を派遣
- ④戦 績 男女 予選リーグ敗退

(7) 第23回関東オープン中学生バドミントン大会選手派遣

- ①期 日 平成30年12月27日(水)~29日(金)
- ②会 場 東京都葛飾区水元総合スポーツセンター
- ③選 手 男子A:佐藤 憲蔵、髙橋 知也、田中 一基、下野 智輝、坪田 啓佑 男子B:荒井 太一、渡邊 至、梅澤 涼晴、大西 悠斗、小沼 孝次

女子A:和光 綾香、田中 舞緒、藤田 美咲、湯本 凛音、河端 葵

女子B:名取 陽菜多、堤 まゆき、小坂 陽向、中俣 瑠菜、鈴木 優海

④戦績 男子A 3位、男子B 5位女子A 7位、女子B 11位

(8) 第19回全日本中学生バドミントン選手権大会選手派遣

- ①期 日 平成31年3月26日(火)~28日(木)
- ②会 場 三重県 津市 津市産業・スポーツセンター サオリーナ
- ③選 手 男子 佐藤 憲蔵、髙橋 知也、田中 一基、渡邊 至 女子 和光 綾香、田中 舞緒、湯本 凛音、名取 陽菜多
- ④戦 績 予選リーグ敗退

(1) 強化練習会

期日	会場	対象
8月 1日 (木)	稲城市総合体育館	関東大会出場者
8月 28日 (水)	駒沢運動公園体育館	アジア交流大会代表・推薦者
12月 1日(日)	未定	関東オープン大会都選抜選手
12月 8日(日)	錦城高校	及び都強化指定選手・推薦者
12月 15日(日)	未定	n,
12月 22日(日)	未定	II .
1月 13日 (月)	稲城市総合体育館	都新人大会上位者及び強化指定選手
3月 8日 (日)	未定	都冬季大会上位者・1月強化練習会
		からの選抜・推薦選手

(2) 都中学生バドミントン講習会

- ①主 旨 都中体連バドミントン部強化普及委員のもと、社会人、大学生、高校生、中学生と練習し、 競技力を向上させ、関東大会、全国大会に備える。
- ②期 日 令和2年3月30日(月)~31日(火) ※全日本中学生バドミントン選手権大会が29日まであるため、縮小して実施。
- ③会 場 山梨県河口湖周辺体育館
- ④内 容 基礎・基本練習をもとに各種パターン練習、試合を行う。
- ⑤対象者 新人大会、冬季大会の結果を各強化練習会によって男女各18名程度を選考する。

⑥日 程

3月30日(月)	9:00	11:00 12:	00		18:00		22:00
3月30日(月)	集合	昼食 アップ 開	講式	実技 I	夕食	ミーティング	就寝
3月31日(火)	6:00	7:30 9:00	12:30	13:30	14:00	16:00	
3月31日(火)	起床	朝練 朝食 実技IV	昼食	閉講式	体育館発	解散	

(3) 全日本ジュニア東京都代表選手選考会

①主 旨 全日本ジュニアバドミントン大会

②期 日 令和元年8月15日(木)

③会 場 多摩市総合体育館

④参加資格 東京都バドミントン協会及び日本バドミントン協会に加盟しており、下記 I、IIのいずれ かの条件を満たす者

I:東京都中学校体育連盟バドミントン部に加盟している中学校の生徒で、ブロックの推薦を受けた者

Ⅱ:東京都小学生バドミントン連盟に推薦された小学生

⑤参加費 1500円(当日会場で徴収する)

(4) 第3回ステップアップトーナメント大会

- ①期 日 令和元年8月15日(木)
- ②会 場 多摩市総合体育館
- ③参加資格 各ブロックの予選の上位者で、JOC東京都予選に参加しない者
- ④参加費 1500円(当日会場で徴収する)

(5) 2019 ジュニアスポーツアジア交流大会

- ①期 日 令和元年8月27日(火)~9月1日(日)(選手は28日から召集)
- ②会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
- ③選手選考 東京都選手権大会及び全日本ジュニアバドミントン東京都選考会等の戦績をもとに男女各 6名以内を選考する。(東京都はA、Bチームの参加)

(6) 第18回全日本バドミントンジュニアグランプリ大会選手派遣

- ①期 日 令和元年12月6日(金)~8日(日)
- ②会 場 栃木県宇都宮市
- ③選手選考 東京都選手権大会及び全日本ジュニアバドミントン東京都選考会等の戦績をもとに男女 各2名以内を選考する。(シングルスのみの大会のため、男女各1名の場合もある。)

(7) 第24回関東オープン中学生バドミントン大会選手派遣

- ①期 日 令和元年12月26日(木)~28日(土)
- ②会 場 栃木県 ブレックスアリーナ宇都宮
- ③選手選考 東京都新人大会の団体戦、個人戦の戦績及び令和元年度都強化指定選手の中から 40 名程度 を強化練習会に参加させ、男女 5 人以内を選考する。

(8) 第20回全日本中学生バドミントン選手権大会選手派遣

- ①期 日 令和2年3月27日(金)~29日(日)
- ②会 場 東京都 エスフォルタアリーナ八王子
- ③選手選考 1月の強化練習会と東京都冬季大会の戦績の内容を考慮して、男女8名以内を選考する。 (東京都開催のため、2チーム出場するため)

東京都中学校体育連盟 バドミントン部 規約

第1章 名称および事務局

第1条 本部は、東京都中学校体育連盟バドミントン部と称し、事務局を部長の指定したところに置く。

第2章 目的および事業

- 第2条 本部は、東京都中学校体育連盟(以下都中体連と略す)の規定に基づいて、東京都中学校生徒の、 バドミントン競技の発展普及につとめることを目的とする。
- 第3条 本部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。
 - 1) 東京都中学校生徒の競技会の企画、運営。
 - 2) 東京都中学校生徒の技能向上のための研究、および事業の企画、運営。
 - 3) 東京都中学校生徒への指導、普及および審判技術向上のための研究、事業の企画、運営。
 - 4) その他、目的達成に必要な事項。

第3章 構成および運営

第4条 本部は、都中体連規約に基づいて、都中体連に登録された中学校により構成し、各支部より2名選出された専門委員、および推薦専門委員により運営する。

第4章 組織

第5条 本部に、次の役員、委員、および各種委員会を置く。

 1)役
 員
 部長
 1
 名

 副部長
 若干名

2) 会計監査委員 2 名

- 3) 専門委員会
- 4) 常任委員会
- 5) 実務委員会 1. 総務委員会 2. 競技委員会 3. 審判委員会 4. 強化普及委員会 5. 会計委員会
- 6)ブロック委員会
- 第6条 常任委員会は、役員、各ブロック委員会委員長・副委員長、および推薦常任委員により構成する。
- 第7条 実務委員会は、常任委員を委員長、副委員長とする。各委員長は、必要に応じ、各専門委員に対して、所属を要請することができる。
 - 第8条 推薦専門委員は、いずれかの実務委員会に所属しなければならない。
 - 第9条 ブロック委員会は、各ブロックに所属する専門委員により構成し、委員長・副委員長各1名および必要な役職をおく。ただし、委員長・副委員長は推薦常任委員を除く。

第5章 役員、各種委員の選出

第 10 条 役員、および会計監査委員は、選考委員会(前記の常任委員をあてる)の推薦に基づいて、専門 委員会が選出する。

- 第11条 推薦専門委員、推薦常任委員は、選考委員会または常任委員会の推薦に基づいて部長が委嘱する。
- 第12条 各実務委員長、副委員長は、常任委員会の互選により選出する。
- 第13条 各ブロック委員長・副委員長は、各ブロック委員会の互選により選出する。
- 第 14 条 各役員、委員の任期は 2 年間とし再任を妨げない。 欠員補充の場合の任期は前任者の残存期間と する。

第6章 役員、委員の任務

第 15 条 部長は本部を総括し、部を代表する。副部長は、部長を補佐し、部長に事故ある時は、その職務 を代行する。

第 16 条 専門委員は、各所属支部バドミントン部の運営にあたる。また、ブロック委員として所属ブロックの運営に協力する。

第17条 専門委員は、各実務委員長の要請、および本人の希望により、各実務委員会に所属し活動する。

第 18 条 常任委員は、本部主催・主管の事業の運営にあたる。また、ブロック委員長・副委員長は、ブロック委員とともにブロック活動の運営にあたる。

第19条 会計監査委員は、本部の会計を監査し、専門委員会に報告する。

第7章 各種委員会の役割

- 第20条 専門委員会は、本部の最高決議機関とし、次の事項について審議する。
- 1)役員、委員の選出 2)年間事業計画 3)予算、決算 4)本規約の改廃 5)その他重要事項 第21条 常任委員会は、専門委員会の決定に基づいて、次の事項について審議、執行する。
 - 1)本部主催・主管の事業の企画、運営に関する事項。
 - 2) 予算執行に関する事項
 - 3) 専門委員会審議事項の原案作成。
 - 4) その他、必要事項。

第22条 各実務委員会の職務は、次の通りとする。ただし、各実務委員会の決定事項は、常任委員会の承認を得て実行する。

1. 総務委員会

- 1) 専門委員会、常任委員会の開催企画、準備、通知。
- 2) 主催大会の総務に関する事項の処理。
- 3)各委員会、各種事業(大会等)の記録の整理。
- 4) 広報活動
- 5) その他、必要事項

2. 競技委員会

- 1)本部主催・主管競技会の要項作成、準備および競技運営の中心となる。
- 2) 次年度の各主催・主管競技会の企画、準備。
- 3) その他、必要事項

3. 強化普及委員会

- 1)バドミントン競技の普及および競技力向上についての指導法の研究。
- 2) 競技の普及、競技力向上に関する講習会練習会等の企画準備、および運営の中心となる。
- 3) その他、必要事項

4. 審判委員会

- 1)主催大会の審判に関する事項の処理。
- 2) 競技規則、審判法に関する研究。
- 3) 審判に関する講習会等の企画、準備および運営の中心となる。
- 4) その他、必要事項。

5. 会計委員会

- 1) 本部の予算・決算の原案作成。
- 2) 予算執行に関する事務。
- 3) その他、必要事項。
- 第23条 各実務委員会は、必要に応じて、各委員長が招集する。
- 第24条 各ブロック委員会は、専門委員会・常任委員会の決定に基づき、次の事項について、審議、執行 する。
 - 1)ブロック大会の企画・運営に関すること。
 - 2)ブロック大会の会計に関すること。
 - 3) その他、ブロックに関する、バドミントン競技の発展に寄与すること。

第8章 会計

- 第25条 本部の経費は、加盟費、大会参加費、その他の収入を持ってこれにあてる。
- 第26条 本部の会計年度は、毎年4月1日より、翌年3月31日までとする。

第9章

第27条 本部のブロック構成は、別表の通りとする。

第 10 章

- 第28条 本部の運営に必要な細則は、専門委員会の承認を得て、別に定めることができる。
- 第29条 特別に必要を生じた場合は、専門委員会の承認を得て、特別委員会を設けることができる。
- 第30条 本規約は昭和59年6月12日より発効する。

本規約は昭和61年4月25日より改正施行する。

本規約は昭和63年4月26日より修正施行する。

本規約は平成5年4月22日より改正施行する。

本規約は平成10年9月1日より改正施行する。

本規約は平成12年4月18日より改正施行する

東京都中学校体育連盟バドミントン部規約・別表

ブロックの構成(平成12年9月1日より)

ブロック名	所 属 支 部 名		
A(第1・第2)	千代田・港・品川・大田 新宿・目黒・世田谷・渋谷		
B(第3・第4)	中野・杉並・練馬文京・豊島・北・板橋		
C(第5・第6)	中央・台東・荒川・足立 墨田・江東・葛飾・江戸川		
D(第7・第9)	武蔵野・三鷹・府中・調布・狛江 八王子・町田・稲城・多摩・日野		
E(第8・第10・第11)			
F(第12) 島嶼			

